

自動車・同付属品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	第一工場、灯油タンク場所事務棟南側にある灯油タンクに灯油を汲みに行き戻る時に、地面が凍結している所で滑って転んでしまい左肩を強打した。	49	50~99
1	1~2	工場内の作業場において、5台の成型機管理と製品管理を行っている作業中他の機械に移動する時に床の段差に左足を引っかけてつまずき、転倒しないよう右側にあった作業台に手をついたが、滑りよろけて左側の機械の突起部分に左脇腹が当たり、後ろ向きに腰部から転倒し負傷した。	49	50~99
1	9~10	刃物交換を行おうと刃物交換用ブースに進入しようとした際、他の作業者が作業していた為、避けて取ろうとしたところ、壁に立てかけてあったアクリル板につまずき転倒した。転倒する際に左手で持っていた刃物をかばう格好で転倒し、受身がとれず側頭部を床に強打した。	31	100~299
1	22~23	休憩中、外の喫煙室から食事を取るために食堂へ移動していた際に、通路に置いてあった箱に気付かず躓き、四つんばいになるように前のめりに倒れ、その際に右手中指を床にぶつけた。	40	50~99
1	3~4	就労中、休憩時間となり、工場敷地内の薄暗い通路を歩行していたところ、通路横に置いてあった台車（長さ約3m）に誤って足を引っ掛けてしまい前方に転倒し、右頭部・右頬・右膝・左太もも・脛を負傷した。	34	100~299
2	13~14	当社作業場内にて、台車を移動させる際に、誤ってパレットの角に接触し転倒した。右目付近を台車に強打した。	62	30~49
2	10~11	工場内のL字形通路を真っ直ぐ小走りに進み、結束用のPPバンドを取りに行こうと右に曲がりかけた時、足を滑らせ転倒し、正面のトイレの壁に、勢いよく左の肩から激突してしまった。	57	30~49

2	22~23	金型の部品を探していた際に、床に直置きした部品類の入ったケースに躓いて転倒し、左手をついたが骨折してしまった。	58	100~ 299
2	13~14	トラックの荷台に乗って高所作業車のブーム内にグリスを入れていた時、足を滑らせて前のめりに転倒しトラックの角で胸を打った。	52	1~9
2	15~16	作業現場にて、溶接作業を行う為に工具を棚へ取りに行く際に、天井部分からつり下がっていた溶接機器（ホース状）に足を引っ掛けて、コンクリートの床へ右肘から転倒し、強打した。	38	10~ 29
2	13~14	書棚を製作するため、作業台の上で溶接作業を行っていた。作業台の上で立ち上がろうとした際ふらついてバランスを崩し、製作していた鉄枠に手をついたが鉄枠が傾き作業台から鉄枠と共に落ち鉄枠に左足が挟まれた。	53	1000 ~ 9999
3	18~19	更衣室階段を下りる際、下で上ってこようとしている人が待機していたため、避けようとして右側に寄って降りようとしたところ、階段の最終段差のスロープ部分に右足を捻って着地してしまい、そのまま転倒した。	48	30~ 49
3	7~8	被災労働者は、アルミホイールの穴あけ作業を行う際に、排出される切粉を切粉缶に投入する為、切粉が入っている箱（縦約40cm、横約60cm、高さ約40cm）を両手で持ち、切粉缶の前まで行った際、手前に板パレットが敷いてあったので、その上に乗って切粉を投入しようとしたところ、パレットの溝に左足がとられて転倒し、左足首を負傷した。	51	50~ 99
4	6~7	金型保金整備で突発磨き部位のPC入力を実施しようとしたが、型修理箇所を確認する為、PC横にあるワーク保管棚より落下防止バンドを外しワークを確認できたためPCへ入力後、素手のままワークを持ち、保管棚へ戻そうとした時、床に垂れている落下防止バンドで滑り転倒し、落下したワークの上に左手をついて受傷した。	37	10000 ~
4	7~8	徒歩で工場敷地内の横断歩道を走って渡った後に、通常歩行したら躓いて右ひざを地面にぶつけ負傷した。	22	100~ 299
4	8~9	部品を取りに行く際に、通路の横の容器に足を引っ掛け転倒時に手をつき両手を（左手骨折右手をヒビ）を負傷した。	54	30~ 49

5	1~2	夜勤時、ロッカーに向かう際、休憩所横でリサイクル用の軍手が入ったビニール袋を踏んでしまい、前方へ転倒した時に腰を痛めた。	25	1000 ~ 9999
5	9~ 10	出荷場にて、ポリ容器置きパレットと、フォークリフトの間に立てかけていた空のパレットをフォークリフト後方へ移動中、フォークリフト後部を避けようとしてバランスを崩し、うつ伏せに転倒した。	61	100~ 299
5	15~ 16	ベアリング部品の研磨作業に従事中、部品が入っていたコンテナボックスが空になったので、空箱を整理していたところ、箱に溜まっていた潤滑油（ベアリング部品に使用していたもの）がこぼれて床が滑りやすくなっており、被災者が滑って転倒した。転倒の際、左膝を捻って靭帯を損傷した。	32	100~ 299
6	18~ 19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度回転した。その際、はみ出していた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	50~ 99
6	3~4	弊社第3工場R5Zライン部品置場において、荷降ろしをしようと他のラインからR5Zラインに移動する際に、牽引台車と切り離された台車の間を通り抜けようとして、切り離された台車の連結バーが下がった状態に気付かず、足を引っ掛けて転倒し、部品台車の角に顔がぶつかり、中心性頸骨損傷を受傷した。	65	300~ 499
7	9~10	厨房室にて朝食の準備中に、小走りで作業をしており厨房室内の溝のふたに足を引っ掛けて転倒、左足を骨折。	56	50~ 99
7	15~16	トイレのドアを内側へ半分程度開けて外へすり抜けるように出ようとした時、右ヒザが扉に引っ掛かってバランスを崩し転倒した。その際左手を勢いよく床につき手首を骨折した。	44	100~ 299
7	18~19	CVT加工ラインでの作業終了時、スポットクーラーに溜まった排水（ドレン水、ポリタンク18?入）を廃棄した後、作業場に戻ろうとした際に足ふきマットが滑り、ポリタンクを持ったまま後方に転倒した際に右手首を骨折したものの。	53	100~ 299
7	11~12	組立工場にて、部品製作時、鋼管を切断する機械を操作中、鋼管を固定するた	22	30~

		めの装置と鋼管で左手中指先端を挟み、指先を裂傷、骨折する怪我をした。		49
7	14~15	被災者は塗装加工区出入口屋根裏にできた蜂の巣を取り除くため、2人で棒を使い除去を行っていた。蜂の巣が地面に落ちた際、蜂が被災者に急に襲ってきたため、とっさに横向きに逃げたが足が絡まり床面に転倒した。（蜂は巣から出てきたか、周辺から寄って来たかは不明）	53	1000 ~ 9999
7	8~9	トラック荷台の部材運搬中、後ろ向きに移動していた際、足元に落ちていたロール材を踏んでしまいバランスを崩し、後ろへ転倒した。	28	1000 ~ 9999
7	15~ 16	ボデー工場にて、牽引車で部品の工程間運搬作業を行っていた。部品A（リアメンバーリア）運搬後、次の部品B（ロアバック）の作業を行おうと空台車置場まで移動する途中、通路横に設置の部品Bの運搬指示パトライトを見たが点灯していなかった。そのまま台車置場まで運転し、指定位置で台車を牽引車から切り離し、牽引車を停車させたあと、パトライト点灯を確認しに行こうと牽引車を降り、パトライトが見える場所まで歩き始めた。切り離れた台車前で、左足を牽引フックに引っ掛けてよろけた際、咄嗟に左手で台車の柱を掴もうとしたが、レバーに腕カバーが引っ掛かって掴むことができず、左腕がレバーに当たった。そのため、身体を支えられずに転倒してしまい、右膝を床につき受傷した。	40	1000 ~ 9999
9	17~ 18	技研作業所内に於いて、現品束のフォークリフトのリーダーに渡そうと向かっている際に、誤ってパーテーションの足に右足を引っかけてしまい転倒、右膝を強打し負傷した。	53	10~ 29
9	8~9	ライン脇で作業用台車の往来を避け位置を変えながら作業見学を行っていた。作業用台車が近づいて来た為、パイプ組棚②を回って元の位置へ戻ろうと移動した際に、最下部に置いてある金属パイプ先端が右足作業ズボンに引っ掛かりバランスを崩し左前方へ転倒した。左側にあった部品組棚③の支柱（上から3本目の横支柱長さ約1.5m、高さ約1m）に、ヘルメットの左側頭部と眼鏡が衝突した。	40	1000 ~ 9999
		当社整備工場の車輛昇降リフトの台座が、最下位置より約10cm位上昇した位置		

9	14～ 15	で停止していた。被災者は、自分の持ち場の作業場に戻るときに、近道を通ろうとして、工場内の通路を逸れて、そのリフト台座の上を通行しようとした。その際に、そのリフト台座が上昇していたことに気付かずに、台座につまずいて身体のバランスを崩して転倒した。転倒した際に、移動式ライトテスターという機械に右耳を打ちつけ被災した。	65	1～9
9	15～ 16	フォークリフト燃料（プロパンガスボンベ20kg）を交換する為、腰の高さまで持ち上げた時、前に痛めていた右膝に激痛が走り、バランスを崩し転倒した時に、プロパンガスボンベと共に倒れ、ボンベで右膝内側を打撲したものである。	49	10～ 29
9	0～1	当社工場内にて、部品の空箱（1箱）をゴミ箱まで捨てに行く際、小走りで向かった。ゴミ箱直前で停止する事ができず右足首をひねり、右側へ転倒した。	33	100～ 299
10	18～ 19	工場において、業務終了前に敷地内のゴミ置き場へビニールゴミを置きに行った際、大雨が降っていて足元を滑らせてしまった。この時、ゴミ置き場のフェンスに胸を強くぶつけて打った。土曜日の夕方の出来事で病院へ行けず、また、痛みはあったがただの打ち身だと思い我慢していた。翌々日の朝も我慢して出勤したが、業務に支障をきたす痛さだった。	43	100～ 299
10	9～ 10	作業現場の通路で倒れているのを発見した。（頭部に強打した跡があったと証言有り）倒れた原因として足を滑らせる等の転倒か意識障害等が起因して転倒したかは不明である。但し足を滑らせたり等の痕跡がなかったと発見者証言有り。又、有害な状態での転倒と仮定した際には違和感があると発見者証言有り。	67	10～ 29
11	11～ 12	製造ライン（Dライン）で、ラインへの部品供給中、両手で部品を持って移動していた。ラインの入り口が狭く、ラインに入る際に作業台を避けようとして、箱詰め台の方に寄ってしまった。箱詰め架台に躓いて転倒し、両手がふさがっていたため、そのまま正面の架台柱に顔面を強打した。	59	10～ 29
11	11～ 12	事業所内の検査台にて作業中、2階のトイレに行こうと移動した際、別の検査台前を通ったところ、検査台前の床に敷いてあった検査員専用のマットに足をとられ、滑って転倒した。倒れた際に左手首をつき骨折してしまった。	59	1～9

11	23～ 24	被災者は、工場600tブランキングラインにて材料の梱包作業中に、パレットが変わったはずなのにパレット台車が反転機から出て来ないことに気づき、被災者は確認の為にパレットチェンジャー間に入った。チェーンが空回りして、パレット台車が出て来ないことが分かり、機械を停止させようとした。来た道を戻らずに、パレットチェンジャー操作盤にある非常停止ボタンを押そうと移動した際に足を滑らせて転倒し、動いていたチェーンに右手の人差し指、中指が巻き込まれ被災した。	47	10～ 29
11	15～ 16	工場1階北側三次元測定室前にて、作業台作成中、木製のボードを2人で持ち上げる途中、足元にあった木パレットに引っ掛かり、バランスを崩し、床に右膝から強打し皿が割れ負傷した。	44	50～ 99
11	7～8	出退勤管理板前にある縫製工程スペースにて、同僚と会話していた。会話が終わり、朝礼場所へ向かおうと振り向いた瞬間、被災者がサンプルシート台に躓いた。そしてバランスを崩し、通路へ右肩から倒れ負傷した。	65	100～ 299
12	18～19	業務が終了し駐車場に向かう途中で、会社敷地内の花壇のブロックがあることに気付かず、ブロックにつまずき転倒し、負傷した。	42	50～ 99
12	2～3	当工場内Bラインにて、径360mm、厚さ80mm、重さ4kgのアルミ製自動車部品を切削機にて加工作業を行っていて、床に切削油がこぼれて滑りやすい状況で作業を続けていた。品物を機械から取り出す際に一歩ふみ出した時に右足首が滑り、内側にひねって転倒した。	50	100～ 299
12	17～18	終業後、着替えを済ませ帰宅する際、事務所床面の配線カバーに躓いて、バランスを崩し転倒した。	54	1000 ～ 9999
12	16～17	作業終了後に手を洗うため、作業場から手洗い場に向かう途中、2cm程の段差に躓き、前方に倒れ、咄嗟に左手をコンクリートの床についた。その際、左手首に負荷がかかり、左手首を骨折した。	57	100～ 299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html